

名古屋の池マップ

東部丘陵

大規模緑地内をはじめ、ため池が多く分布。
ため池間の距離は比較的近接している。

(水辺のネットワークが辛うじて残っている)

中・西部(台地・沖積低地)

市街地公園の池が主体。

社寺境内等の小規模な池も散見される。

池の分布はいたってまばら(相互に孤立)。

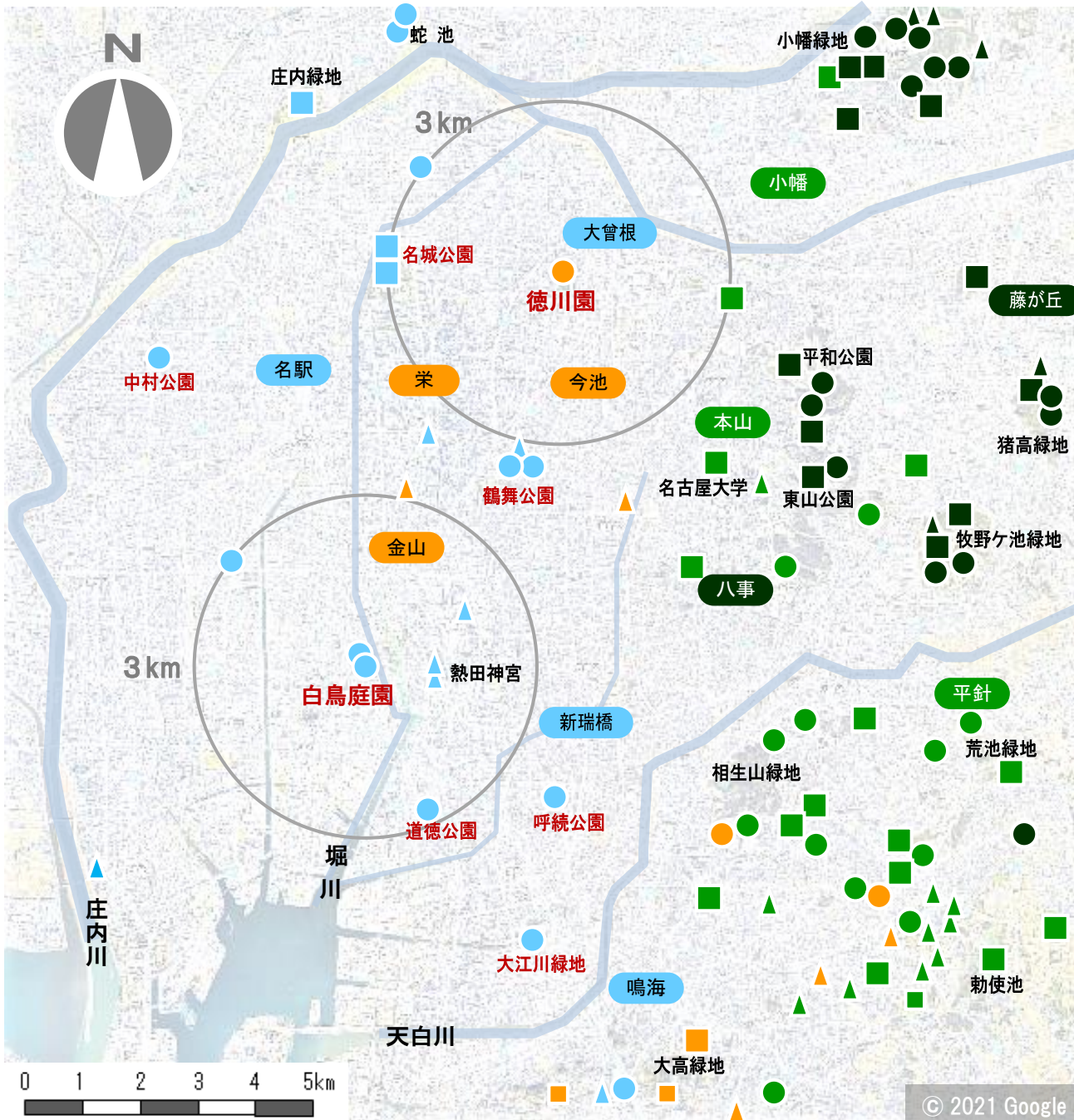
* トンボの居場所が狭まっている市街地の中で、
**限られた空間に多様な地形(環境)をギュッと圧縮した日本庭園(徳川園、白鳥庭園)は、
トンボにとってオアシスのような存在。**

1 ha 以上の池	■	■	■	■
1 ha 未満の池	●	●	●	●
0.1 ha 未満の池	▲	▲	▲	▲
標高	標高	標高	標高	標高
10 m 未満	10 m 以上	20 m 以上	40 m 以上	

* 池の所在・規模・標高を、
地理院地図(電子国土 Web)によって把握し作成。

赤字: トンボ調査を行った公園。

(いずれも市内中・西部=台地~沖積低地)



生息のための 主要環境要素	科名	種名	確認 地区数									(参考)	
				鶴舞 公園	呼続 公園	白鳥 庭園	徳川 園	大江川 緑地	名城 公園	中村 公園	道徳 公園	東山 公園	猪高 緑地
合計種数				25	22	23	20	20	18	12	11	37	36
1 水面	ヤンマ	ギンヤンマ	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	シオカラトンボ	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	ウスバキトンボ	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	シウジョウトンボ	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サナエトンボ	タイワンウチワヤンマ	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	エゾトンボ	オオヤマトンボ	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サナエトンボ	ウチワヤンマ	3	○	○	○*1	○	○	○	○	○	○	○
				7	5	7	6	4	7	5	5	6	6
2 水面 水生植物	イトトンボ	アオモイトトンボ	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イトトンボ	アジアイトトンボ	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イトトンボ	クロイトトンボ	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	チョウトンボ	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アオイトトンボ	アオイトトンボ	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イトトンボ	ムスジイトトンボ	3	○	○	○	○*2	○	○	○	○	○	○
	モノサシトンボ	モノサシトンボ	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	ヨツボシトンボ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	コフキトンボ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アオイトトンボ	ホソミオツネトンボ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イトトンボ	セスジイトトンボ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		その他	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				7	8	5	7	5	4	2	4	9	9
3a 水面 樹林	トンボ	コシアキトンボ	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	オシオカラトンボ	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヤンマ	クロスジギンヤンマ	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	シオヤトンボ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤンマ	カトリヤンマ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
エゾトンボ	タカネトンボ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				5	5	4	3	4	4	3	1	6	5
3b 水面 水生植物 樹林	ヤンマ	マルタンヤンマ	3	○	○	○*1	○	○	○	○	○	○	○
	ヤンマ	ネアカヨシヤンマ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		その他	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
4a 湿地	トンボ	アキアカネ	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	コノシメトンボ	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	ナツアカネ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	ノシメトンボ	2	○	○	○*1	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	ハラビロトンボ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		その他	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				2	2	4	1	3	1	1	1	8	7
4b 湿地 樹林	トンボ	マユタテアカネ	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	リスアカネ	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トンボ	ネキトンボ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		その他	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				2	1	1	2	3	1	1	4	5	
5 流水	オニヤンマ	オニヤンマ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カワトンボ	ハグロトンボ	1	○	○	○*1	○	○	○	○	○	○	○
		その他	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				1	1	1	1	1	1	1	1	3	1

名古屋のトンボ

白鳥庭園・徳川園のほか、市街地公園6か所で調査を実施。参考として、東部丘陵大規模緑地のデータも掲げた。

- ◆ 主要な市街地公園では、20種前後のトンボが見られる。
*東部丘陵の大規模緑地では、30数種が確認されている。
- ◆ 水面を主要要素とする種では、大規模緑地と市街地公園の差が少ない。
*ギンヤンマ、シオカラトンボ、ウスバキトンボは、どこでも常連。
*ウチワヤンマは丘陵地、タイワンウチワヤンマは市街地に多い。
- ◆ 水生植物好きのトンボ種数は、水生植物の多寡に左右される。
*イトトンボ類の多い呼続公園 / 少ない中村公園。
- ◆ 樹林好きのトンボの多い鶴舞公園 / 少ない道徳公園。
- ◆ 湿地好き（アカトンボ類）の多い大江川緑地。白鳥庭園も健闘。
- ◆ 流水好きのトンボは、市街地公園には少ない。

注1) 種名の色 赤字：7割以上の地区で記録（よく見かける）
青字：3割以上の地区で確認
黒字：確認地区が3割未満（市内では珍しい）

注2) 調査地区、調査期間
徳川園（東区）2018.4~11 / 名城公園（北・中区）2015.4~10 / 中村公園（中村区）2019.4~10 / 鶴舞公園（昭和区）2017.4~10, 2018.4~10 / 白鳥庭園（熱田区）2016.4~10 / 道徳公園（南区）2019.4~10 / 大江川緑地（同）2019.4~10 / 呼続公園（同）2014.5・9, 2017.4~10, 2018.4~9

注3) 文献からの記録
*1: 飯田康博等による記録（2011~22の写真撮影記録）。
*2: 高崎保朗「名古屋の蜻蛉目総括、今と昔」なごやの生物多様性5:107-111（2018）
東山公園（千種区）：
株式会社プレック研究所「東山公園及び平和公園環境調査業務委託調査報告書」2008
猪高緑地（名東区）：
高崎保朗「名古屋市名東区猪高緑地の蜻蛉と蝶」なごやの生物多様性4:89-106（2017）